



手から滴るほどの汗をかく疾患を「**手の多汗症**」という。塗り薬や注射が治療の第1選択となるが、改善しない場合は、呼吸器外科の出番だ。胸部の交感神経を切

除すると手術直後から汗がびたっと止まる。倉敷成人病センターの奥村典仁特任副院長・呼吸器外科主任部長に、原因や症状、治療について聞いた。

## 手の汗の治療

## 倉敷成人病センター 奥村特任副院長に聞く

おくむら・のりひと 山口大学医学部卒、京都大学大学院医学研究科修了。米国マサチューセッツ総合病院、倉敷中央病院呼吸器外科主任部長などを経て、2022年8月から倉敷成人病センターに勤務。日本呼吸器外科学会ロボット支援手術プロクター、日本呼吸器外科学会指導医・胸腔鏡安全技術認定医、日本外科学会専門医、日本胸部外科学会指導医、日本呼吸器学会指導医など。

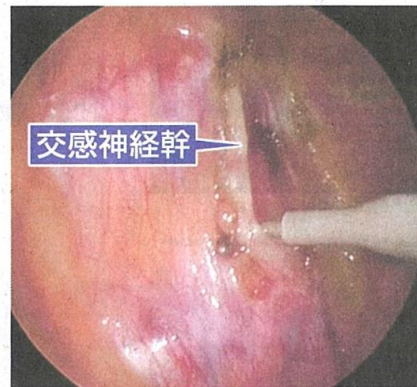
症状がひどいと、試験の時に答案用紙が手に張り付いてふやけて破れる、手が滑って答案が書けない、パソコンのキーボードを打てない、手袋を着けられないなど、勉強や仕事に支障を来します。治療を皮膚科で行う場合は、塩化アルミニウムなどの外用薬を塗ったり、ボツリヌス菌毒素を注射

手のひらにたくさん汗をかくのは、胸部の交感神経の活動性が異常に高まることが原因です。交感神経は脳から背骨の両側に沿って尾骨まで下りている直径1ミリの神経を指します。幼少期から思春期にかけての発症が多く、何年も悩んだ末に成人後に受診する人もいます。患者は19人に1人いるとされます。

# 呼吸器外科手術で治まる



手の汗の診察をする奥村特任副院長



交感神経幹を切除すれば手の汗は速やかに治まる

## 塗り薬や注射 効果には個人差

手術によって手の汗は極端に減りますが、代わりに背中や胸、太ももなどに汗をかきやすくなることを理解しておいてください。自身は治療方法を説明しますが、手術を勧めることはせず、あくまで患者さん自身に決定してもらっています。発育とともに改善することもあるので、小学生以下には手術は行いません。

手術は細径胸腔鏡下で行います。脇の下の2、3カ所に直径3〜5ミリの穴を開けて、胸腔鏡を入れて胸椎と呼ばれる背骨の頭側から3番目の高さにある神経幹を切除します。全身麻酔で行い、手術時間は両手で1時間半程度です。入院期間は1泊2日もしくは2泊3日を要します。術後の痛みは非常に軽く、傷跡はほとんど目立ちません。

手術は細径胸腔鏡下で行います。脇の下の2、3カ所に直径3〜5ミリの穴を開けて、胸腔鏡を入れて胸椎と呼ばれる背骨の頭側から3番目の高さにある神経幹を切除します。全身麻酔で行い、手術時間は両手で1時間半程度です。入院期間は1泊2日もしくは2泊3日を要します。術後の痛みは非常に軽く、傷跡はほとんど目立ちません。